



■ ありがとう ■

発行日
平成17年8月31日
第6号
電話&FAX
047-361-5304

発行:NPO法人 松戸エコマネー「アウル」の会 理事長:文入加代子 松戸市松戸新田129番1(株)ダイエッ

◆ 新年度のスタートにあたって・・・ 理事長 文入加代子

会員の皆様には、お元気でそれぞれのお立場でさまざまな活動をなされていることと存じます。さて、総会が終了しました。総会後の交流会もなごやかに、差し入れのスイカなどを食べながら情報交換が行われて、今後の「アウル」の活動の発展につながっていく期待がもてました。しかしまだ一度も交流会などにご参加いただけてない方や、サービスの申し込みやサービス提供を依頼されたことのない会員が、多くいらっしゃいます。メールを開通し、ホームページも開設しました。会の基本的な活動の「ありがとうが行ったり来たり」の活発化に、ぜひ皆様のお声をいただきたく思います。



なお、Yahoo登録では今年7月現在、全国的にはエコマネーを含む地域通貨は約550件、関東で102件、千葉県内では17件(当アウルも含む)あり、それぞれが独自の内容で行っています。また総務省では地域再生法に基づいて、17年度「地域通貨モデルシステム導入支援・普及」を行い、モデルシステム実証実験団体として5団体を選びました(千葉県銚子市)多くの情報を得ながら、戸田幹事長の提唱する「松戸市協働型地域環境コミュニティ事業」の内容も研修していきたいと思ひます。

平成17年度の「定期総会」が終了しました。

7月23日(土)開催、会員のみなさまのご協力により、全ての議案が承認され、平成17年度がスタートしています。



総会終了後、懇親会を行いました。

ユーモアを交えながらの自己紹介で始まり、会員同志の交流に、会員によるスイカの差し入れを頂きながらの楽しいひと時でした。



平成17年度「総会」で承認されました議題の1部を掲載します。
尚、全議題につきましては、ホームページに掲載されています。

平成17年度 事業計画

平成17年6月1日～平成18年5月31日

- 1、市内イベントに積極的に参加しエコマネー『アウル』を市民にアピールする
●NPO市民活動見本市 ●さくらまつりのパレード ●松戸まつり ●松戸市消費生活展
- 2、交流会の開催
・会員同志の交流を深める会員交流会を開催する、年3回 ・愛・地球博 ・バーベキュー大会などの開催
- 3、他団体との交流の促進
エココミュニティ・ネットワークの会員としてエコマネー研修会に参加する
地域内ボランティア団体とネットワーク化を図る
- 4、事業の開催
松戸市、松戸商工会議所との連携により商店会活性化事業『GOGOプロジェクト』の推進
福祉いきいきフェアバザーに出店 新規事業の模索
- 5、広報活動の推進
会報の発行 年3回、 ホームページの活用
- 6、役員会の開催 原則として毎月第4日曜日10時から2時間開催
- 7、上記研修、イベント、事業、運営を通し新規会員の増強拡大を図る



平成17年2月～8月までの主な...

活動報告



第19回「エココミュニティ・ネットワーク講演会」
■平成17年2月1日
■江東区公会堂(ティアラこうとう) ■18:30～
■講師;
松戸エコマネー「アウル」の会 戸田栄造副理事長

戸田副理事長より、「松戸エコマネー」の発足以来の経過と今までの活動状況について報告があった。
引き続き千葉県より委託事業として実施中の地域ボランティアによる地元商店街活性化事業「アウル
GOGOプロジェクト」の進捗状況の報告があった。

記：川本佳行

第2回 NPO市民活動見本市

■平成17年2月27日 ■まつど市民活動サポートセンター

今年度は昨年と異なり、テーマ別に八分野に別れ56団体が展示をしました。また、2階のトーク会場(下記右写真)では、エコマネーの実践事例の発表が行われました。



松戸エコマネーのブースを
川井市長が訪問



「アウルGOGOプロジェクト報告会」 ■平成17年3月1日
 ■千葉県庁前 プラザ菜の花 3F大会議室 14:00～

商店街活性化に向けて・・・

千葉県受託事業として、地域通貨、エコポイントを使用しボランティア活動をした人に50アウル券を配布し、サンロード商店街で買い物の補助券として使える運動を3カ月間実施した。その結果、2,316枚のアウル券が買い物に使用され、460人以上の来店があったなど、はじめての実験として有益な実績をあげる事ができた。その成果を、150名の参加者を前に発表する報告会が開かれました。

地域通貨、エコマネーの第2波の活動へと、今後も機会をみて実践して行きたいと思えます。



記； 佐竹荘助 今回使用した、50アウル券(50円相当)



「常盤平さくら祭り」パレードに参加 ■平成17年4月2日

第21回「エコマネー&コミュニティビジネス・トーク」研修会に参加

■平成17年7月30日 ■中野区勤労会館 大会議室
 ■13:30～ ■懇親会 ~18:00

条例づくりなど、エコポイントを手を熱弁を振るう 桑島理事長



加藤敏春代表理事



会場:東京都中野区勤労会館

約100名参加の会場には、青森県から南は北九州市までの熱心な参加者が集まりました。

挨拶 中野区長 田中大輔氏

講演 主催者代表理事 加藤敏春氏

テーマ「ネットワークを活用したスタンプ・ポイントとエコポイントの組合せと商業ファンド設立の展開」の話と、地域通貨エコマネーは、第1の波から第2の波への活動にステップアップする、などの話がありました。

事例紹介 烏山駅前通り商店街理事長 桑島俊彦氏

エコポイントの事例紹介「エコポイント、非営利商店街コミュニティ会社、加入促進条例について」というテーマで【商店街は出会い・ふれあい・コミュニティの場】という観点から、まちづくり3法の見直しについて、世田谷区では商売する人は商店街の振興を図るため組合に加入して欲しい。イベントを行う際には応分の負担をして欲しいということで加入を条例化する事ができたなど、興味深い話がありました。

記； 佐竹荘助



エコマネー・地域通貨の『第1の波』から『第2の波』は、地域通貨の多様性を探す旅として、アウル会員の有志は7月18日(月)EXPOエコマネーセンターを訪問した。センター正面の壁面に巨大な地球図があつた。図は全世界のエコマネーの所在地と名称が掲げられていた。あつた！！我らの『アウル』が、その点のようなアウルに指をかさねあい、感動を共有しあつた。エコマネーは日本だけでも800種類あり、全世界の16%をしめしている。

センター来場者は、CO2削減活動とエコマネーの関連やEXPOエコマネーの仕組みを発展させた制度『エコポイント構想』を学習した。『アウル』の目標—松戸市協働型地域環境コミュニティ事業(提案)に関連した部門を見学したく食品循環資源の再生利用・乾式メタン発酵を核としたエネルギー部門、特にEXPOゴミの拠点回収を注目した。

高能率に処理されてゴミの臭気を消していたことが驚きだった。

日が落ち、夕立で暑気を落とし北ゲートから瀬戸に、とある台湾料理『学習会』。宿は深川神社・陶祖を祭る寺院の隣にあつた。

記： 田邊義夫



会員の皆様へ、会費納入のお願い・・・

総会が終了し、平成17年度がスタートしております。会費をまだ納入されていない方は早急に納入をお願い致します。

尚、納入されていない方には、振込み用紙をお送りしましたのでご利用下さい。(申し訳ございませんが振込み手数料60円はご負担お願いします) また、総会に欠席された方には「総会資料」をお送りしております。

納入されますと6000アウルをお送り致します。ご協力お願い致します。

会計：千葉



NPO法人 松戸エコマネー「アウル」の会 ホームページを開設！

今年5月開設致しました。アドレスは次の通りです。

<http://homepage2.nifty.com/matsudo-owl/>

今後、会員の皆様へのご報告、連絡事項に、また会員の皆様の意見、投稿などに大いに活用して下さい！ お待ちしております。



「アウルの会」のゼッケンができました。
会員による手作りではありますが、今後PRに大いに活用します。



ありがとうございます・・・が行ったり、来たり

NPO法人 松戸エコマネー「アウル」の会
〒270-2241 松戸市松戸新田 129-1 (株)ダイエックス内
TEL&FAX 047-361-5304 (平日 13:00~16:00)
E-mail ; matsudoowl@s3.dion.ne.jp
H P ; <http://homepage2.nifty.com/matsudo-owl/>

